

八王子同胞花見 (焼肉モイム)



4月14日(日) 富士森公園にて

晴天のなか55名の老若男女同胞らがつどい、七輪焼肉を囲みながら楽しく語りあい親睦を深めました。今回、地域同胞とともにハナ信組から新支店長らもゲスト参加していただきました。昨年より1週間遅い開催、桜はとうに散っていることは事前にわかっていましたが、屋台などもすでに出店していない為かほかの花見客はまったく訪れず、まさかの“貸切状態”となりました。若い参加者らは仕事や家庭でのできごと、子育て、ハッキョのことなど近況について時間を忘れて語りあいました。メディアが連日緊張を煽る報道を垂れ流していた時節柄か、年配オルシンの席ではいつになく熱い政治談議も交わされていました。…情勢が緊張し同胞社会を取り巻く状況がかつてなく厳しくとも、地域同胞らが集まれば力が湧く—そのことを改めてたしかめあった1日でした。

新入生歓迎！ オモニ運動会♪

3月10日(日) 長房市民センター体育室、支部会館2階にて



新入生入学とともに進級、卒業生らも一緒にお祝いしようとのイベントが、子供大人合わせて35名参加のもと賑やかに行われました。従来は支部会館を利用していたが、今回はじめて近所の体育館で行うことに。徒競走、障害物競争などの個人競技に2人3脚や風船割りなどの団体競技。この春卒業する6年生から2歳児までが一緒になって元気に駆け回りました。一番盛り上がったのが玉入れ。大きな籠を背負って動くアッパらをオリニらが懸命に追いかけていきます。あまりの気迫に本当に恐れをなして逃げ回るアッパらの姿にオンマらからも思わず笑いもれました。ラストは、オリニらと父母らとに分かれてのリレー。最年少の2歳の子から順に、はじめ余裕を見せていた大人たちも学年が上がるにつれ形勢逆転！高学年にもなると、逆に大人らを待ってあげる場面も。こうして1時間半の運動会は笑いのなかあっという間に終わりました。



…支部会館に場所を移してのランチタイムはニョメンで前日から仕込んだ豪華バイキング。各々、好物の料理を皿にのせて愉快地語りながらおいしくいただきます。この春入学するオリニらも、まるで既に入學していたように上級生らの輪に自然になじんでいる光景を見てオンマらも安心したようです。
★担当者後記：近年、学生数の減少ははじめウリハッキョを取り巻く状況が増々厳しいなかでも、オリニらの笑顔と笑い声に触れると心安らぎ、元気が湧きます。今回、初めての企画で全て手さぐり状態、不安もありましたが、オンマらと共にアッパらも快く協力してくれたおかげで、無事、大成功に終わることができました。これからも多くのアッパ、オンマらと力を合わせ、地域オリニサークルの活動をより良いものにして行けるよう頑張ります♪
ニョメン八王子：権貞恩(オリニサークル担当)

朝鮮学校はずしにNO！ 3.31集会&パレード



4年目を迎えてしまった朝鮮学校のみを狙い撃ちにした高校無償化制度からの排除。怒り心頭の在日同胞たちと社会への危機感を募らせた日本の市民たち7500人が集結し、無償化即時適用と朝鮮学校への差別の撤廃を訴えた。この日会場の外には、かつてない程の右翼街宣車が押しかけ集会中も間くに堪えない罵声を大音量でまき散らしていた。民主党政権下でも“審査中”という名目で事実上の排除がなされてきたが、今や省令改悪までして政府が率先して公然と差別を行うことによって排外主義者は勢いを増し、各地の自治体も“国民の理解が得られない”との詭弁で補助金支給を停止、廃止する動きが相次いでいる。本集会はこのような厳しい状況下で全国各地の闘いを共有結集し、勝利するまで闘い抜く決意を広く訴えるために企画された。自身も無償化排除のなかで学業と適用運動に励んできた朝鮮大学の学生らがまず舞台上がり後輩らへのエールを歌に込めた。午後1時、会場の日比谷野外音楽堂を埋め尽くして、実行委員会代表の挨拶で開会した。舞台上には実行委員会をはじめ全国各地からつけた朝高生代表ら、関東地域のオモニ会代表たち、そして国を相手取り訴訟を提起するまでに至った大阪と愛知の弁護士代表らが次々と登壇し各地での取り組みの報告と、勝利するまで諦めずに戦い抜く決意を熱く語った。連帯挨拶ではデヴィスカルノ夫人や南の支援団体「モンダンヨソビル」から映画「ウリハッキョ」の金明俊監督はじめ各界日本人土らが登壇、エールを送った。集会アピールを満場の拍手で決議した後、パレードに移った。沿道では右翼とともに「在特会(在日特権を許さない市民の会)」を名乗る排外主義者らが汚い罵声を浴びせかけたが、参加者らは挑発に乗ることなく毅然として銀座の街中を行進しながら、力強くシュプレヒコールを叫んだ。
※この日の集会に先立ち、大阪では「朝鮮学校ええじゃないか！春のモアパレード(3/24)」が、愛知と大阪でそれぞれ訴訟と決起集会が持たれたのははじめ全国各地で粘り強く運動が進められ、排外主義的な“世論”に関わらず良識ある市民らによる支援の輪は確実に広がっている。決してあきらめず、勝利まで闘い抜きましょう！

西東京ウリハッキョニュース



学芸会 2月24日・多摩社会教育会館
元来、民族楽器や舞踊はじめ 芸術サークルの技量には定評がありますが今年とはとくに全体としてレベルが高いとの感想が多く聞かれました♪



アボジ会「1日労働」
中級部3年生とその父母らを中心に講堂と校舎内外の清掃や図書室の整理を行い、終了後は焼き肉を囲んで親睦を深めました。



入学式。 4月7日(日)
初級部新入生10人を迎え新学年度のスタート。今年からは保護者らの要望に応え「学童保育」も開始することになりました。



授業参観 4月28日(日)
続いて行われた教育会及びオモニ会とアボジ会の総会。いつになく厳しい状況下で学校を守るために取り組んできた1年間を総括しながらより多くの保護者たちの積極的な関与が呼び掛けられました。
※「学童保育-ムジゲ(虹)」についての説明も行われました。



ウリの会
立川と町田の朝鮮学校を支える市民団体のネットワーク。この日の例会は第2ハッキョで行われ防犯ブザー不支給問題の経緯について校長先生から報告を受け、今後の対応について協議しました。※関連裏面の説明も行われました。

オモニ代表たち、ジュネーブで無償化適用を訴える！

国連社会権規約委員会による日本政府の報告書審査に際し、5人のオモニらが現地へ赴き、無償化排除をはじめとする日本政府の朝鮮学校に対する差別の不当さを世界に向けて発信しています！(4・28～)。

(引用)…道行く人は皆さん本当に好意的で、お散歩のワンちゃんまでオモニ達と鶴さんにくぎ付け。ヨロブン、日本だけなんです。ウリハッキョをいじめるのは！世界は、ふつうに私たちを応援しています！…オモニ達は会議終了後もう一度『座るオンマ』に。すると、数分も経たずに日本政府の代表団がまるで逃げのようにバスに乗り込み去って行きました。平等を叫ぶオモニ達に向けた薄ら笑い、そして見てみぬふり。それは見事に、世界の人々の中で唯一、異質を放っていました。…

☆ ウリクム ウリマウムのブログ
(<http://ameblo.jp/uri-dreams/>)

高校無償化実現のため、全国のウリたち、心をつなげて立ち上がりましょう！

「鶴」と「募金」というウリが集まれば、きっと世界の心も動かせるはず。そう信じて立ち上げたプロジェクト進行のお手伝いできればと「ウリ」を開設しました。情報共有の場として活用ください。



会場の前で記念撮影。

町田市「防犯ブザー不支給」問題、撤回はしたが…

3月28日、町田市は朝鮮学校にのみ防犯ブザーを支給しないと一方的に通知してきた。入学式を控えた時期に突然なされた暴挙。ハッキョと支援団体の市民らは4月5日に同校で緊急記者会見を開き不当な決定の即時撤回を訴えた。この事件については新聞各紙に取り上げられたのみならず、ツイッターやフェイスブック等のソーシャルメディアを通じてたちまち拡散し、同校には全国から激励のメッセージと生徒数をはるかに超える善意の防犯ブザーが送られてきた。そして同じく、町田市には同市内だけでなく全国から抗議が殺到した結果、4月8日に市は決定を撤回し、支給されることとなった。

しかしこれで「無事解決」ではない。市が撤回したのはあくまでも「業務に支障が出るほど」抗議が殺到したという消極的な理由に過ぎない。何より学校側が強く求めた経緯説明と公式謝罪には「右翼からの脅迫」を理由に未だ応じていない。ウリの会では引き続きこの問題を追求して行きます。



※ イラストはレイバーネット
(<http://www.labornet.jp.org/>) から
「防犯ブザーがもっとも必要な子たち」

緊張の朝鮮半島情勢 一対決から対話へ ☆ 21世紀の日本と国際社会 - 浅井基文 (<http://www.ne.jp/asahi/nd4m-asi/jiwen/index.html>) から
一触即発の朝鮮半島情勢でしたが、ケリー国務長官の韓国及び中国訪問を契機に、対決から対話へとという動きがようやく出て来ました(4月27日記)。※抜粋
昨年12月12日の朝鮮による人工衛星打ち上げ以後悪化を深めた朝鮮半島情勢は、一触即発の軍事緊張のなかで推移してきた。この息詰まる緊張は、アメリカのケリー国務長官の韓国及び中国訪問を通じて、いわゆる9.19合意に基づく6者協議再開、即ち対決から対話へと軌道修正を図ったことにより、ひとまず最悪の事態を回避しようとしているが、今後の情勢はなお予断を許さない。朝鮮半島における戦争勃発を回避し、平和と安定を実現するには、何をどうすることが求められているか。今回の軍事緊張の原因を明らかにし、事態打開のために向きあうべき課題を提起することが小稿の目的である。

<軍事緊張の原因> 今回の軍事緊張を引き起こした直接の原因は、朝鮮が宇宙条約ですべての国家に無条件で認められている宇宙の平和利用の権利に基づいて人工衛星を打ち上げ、成功したことに対して、国連安保理が人工衛星打ち上げと認めず、「弾道ミサイル技術を使用したいかなる発射もこれ以上しないことを要求」する決議2087を採択したことにある。…(中略)…今回を含む朝鮮半島における軍事的緊張の原因は次の諸要素からなることが分かる。

1.朝鮮が一貫してアメリカによる核の脅威にさらされてきたこと。2.それに対する朝鮮の国家としての生存を図るための必死の対抗策が核計画であり、ミサイル計画であること。3.朝鮮は核計画の一環としてNPTの認める原子力平和利用の権利を行使して原発建設に乗り出したこと。4.また朝鮮はミサイル計画の一環として宇宙条約の認める宇宙の平和利用の権利を行使して人工衛星打ち上げを進めてきたこと。5.しかしアメリカ(及び安保理)は、朝鮮の原発及び人工衛星の軍事的性格を強調し、NPT及び宇宙条約を無視して、朝鮮のすべての計画を押さえ込もうとしてきたこと。

<事態打開のための課題> 以上のように朝鮮半島における軍事緊張の原因を踏まえれば、今後の事態打開のために関係諸国が向きあうべき課題は明らかとなる。今後の半島情勢は、9.19合意に基づく6者協議再開を目ざして、主権国・中国による朝鮮及び米韓日との調整を軸にして展開するだろう。したがって、9.19合意が以上の軍事緊張の原因を取り除くことに対して有効な内容を備えているかどうかを見極めることが一つのポイントとなる。また朝鮮は、2005年以後の情勢の変化を背景に、6者協議再開に応じるためにクリアすべき条件を提起することもほぼ確実だから、その内容を可能な限り見極めることも今一つのポイントになる。9.19合意の最重要ポイントは、「朝鮮の非核化」ではなく「朝鮮半島の非核化」(朝鮮による核兵器及び既存の核計画の放棄とアメリカによる朝鮮に対する侵略・攻撃の放棄)を目標とすることを一致して確認(第1項)し、「行動対行動」(双務性)の原則に従って段階的に措置を積み上げていくことに合意した(第5項)ことだ。米韓がこの目標及び双務性を確認することが、朝鮮が6者協議再開に応じる大前提になる。また、9.19合意は米朝及び日朝の国交正常化についても約束(第2項)しており、朝鮮は米日の確認を求めよう。朝鮮が6者協議再開に応じるための不可欠の前提条件として提起するのは次の諸点だろう。1. 朝鮮を核保有国として扱うこと(2005年当時との最大の変化に関する承認)。2. 朝鮮の非核化がその原子力平和利用(原発、ウラン濃縮等)の権利を否定しないことの確認(9.19合意第1項関連)。3. 宇宙の平和利用(人工衛星打ち上げ)に関する朝鮮の国際法上の権利確認及びこの権利(及びミサイル発射の権利)を否定し、対朝制裁を課した安保理決議の無効確認、また朝鮮は、2006年以後の中国の言動(特に累次安保理決議に同調したこと)には強い不満がある。朴槿恵政権との関係重視の姿勢を隠さない習近平政権に対する警戒感も働くに違いない。したがって、6者協議を主催する中国が誠実かつ公正にその役割を担うことについての確約も求めよう。以上のいずれも米韓日露あるいは中国にとってすんなりと呑める内容ではないから、6者協議再開には厳しい紆余曲折が不可避だろう。しかし、昨年末以来の経緯は、対決は破滅以外ないこと、対話(つまり6者協議)のみが事態打開の可能性を提供することを明らかにした。6カ国が過去の行きがかりにこだわらず、英知を発揮して朝鮮半島に平和と安定への道を切り開くことを期待したい。

時局講演会開催！ Information

—6月9日(日) PM2:00～

～第3回核実験、核戦略爆撃機まで動員した米「韓」合同軍事演習、停戦協定白紙化宣言…マスコミは連日「ミサイル発射はいつか？」と脅威を煽りたて週刊誌等は今にも戦争が起きるかのよう煽動的に書き立てています。一方で極限まで高まった緊張はやや落ち着き対話解決の兆しも見え始めていますが、予断を許さない状況です。いつになく激動している朝鮮半島情勢と、在日同胞社会への影響、展望等について専門家のお話を聞き、日ごろ疑問に思うことについても忌憚なく意見を交わすために講演会を企画開催することになりました。

※ 詳細は決定次第お知らせいたします！

- ・5月7日(火) 西東京第1ハッキョ・学童保育「ムジゲ」開講
- ・5月8日(水) 立川・町田朝鮮学校支援ネットワーク「ウリの会」例会
- ・5月11日(土) 国連オモニ代表団の帰還報告(※予定)
- ・5月12日(日) 朝日友好親善・高麗郷野遊会
- 〃 朝青(チョチョン)西東京・ボーリング大会
- ・6月7日(金) 西東京第1ハッキョ・チャリティゴルフコンパ
- ・6月9日(日) 八王子同胞・時局講演会